

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	生活排水の適正処理	コード	作成者	役職	上下水道課長
		05-08-33		氏名	藤森 亨
			電話	0869-66-9792	
			このシート作成に要した時間	8.0 時間	

この施策の アピール ポイント	下水道整備区域の見直しに伴い、整備区域外への対策として、合併処理浄化槽設置補助金を増額し、設置の推進をしています。
-----------------------	---

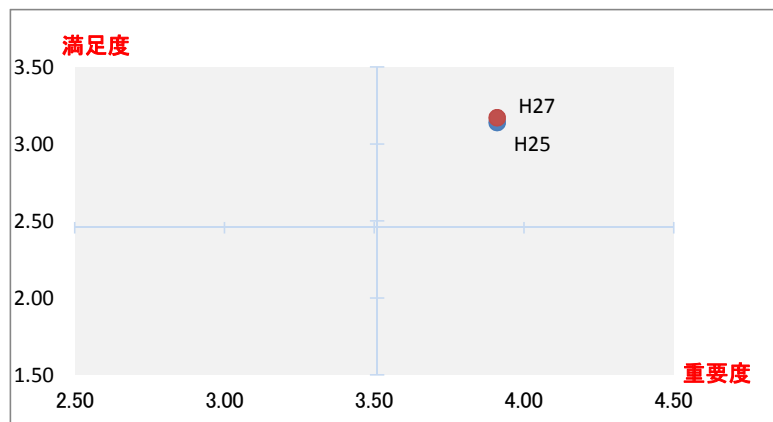
この施策の 平成26年度の 施政方針	下水道について、二ノ樋、香登西、徳当、木生、三石地区などの整備を行うとともに、計画区域外の世帯に浄化槽設置補助金を継続し、合併浄化槽の普及推進を図ってまいります。 また、雨水対策として岩崎地区の雨水幹線整備をすすめてまいります。
--------------------------	---

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

① 政策の体系	基本構想（大項目）	05 生活環境政策「快適・活力」
	基本計画（中項目）	08 快適な生活が送れるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が健康で快適な生活を送れ、豊かさを実感できる地域づくり及び海域・河川など公共水域の水質保全、浸水防除を目的としています。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、地域の状況に合わせ大きく分けて3つの下水道事業（公共下水道等、農業集落排水施設、漁業集落排水施設）と浄化槽で汚水処理を行っており、汚水処理人口普及率は、87.8%、水洗化率は、91.2%と高い水準にあります。こうした中、公共下水道については、整備計画の見直しを行い、未整備区域の整備と合併浄化槽の設置を併用することで、整備率の向上に努めています。また、一方で施設そのものの老朽化が進んでいることから、今後は長寿命化などの維持管理面に重点を移していく必要があります。あわせて、社会情勢の変化にある中、下水道使用料が減少傾向にあり、経営の安定化が大きな課題となっています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道の整備 合併浄化槽の整備 下水道等整備済区域の水水洗化促進 施設の適正な維持管理 健全財政の維持 雨水対策の推進 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度 (%)		3.91	3.91
満足度 (%)		3.14	3.17



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民意識調査の結果、重要度、満足度はともに平均値以上で、維持領域にあります。市民の方から公共下水道の整備が遅れているとのコメントもあり、引き続き、未整備区域を効率的・経済的に整備をすすめるように努めます。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
成果指標 汚水処理人口普及率	目標	%	87.0	88.4	89.0	汚水処理人口÷市内人口	H27	89.7
	実績	%	87.8	88.2	89.3	市内の中で公共下水道、農・漁業集落排水、合併処理浄化槽を利用できる人の割合	H28	90.3
	達成率	%	100.9	99.8	100.3		H34	94.2
	ベンチマーク		81.7	82.4	83.6	岡山県平均値	—	—
参考指標 水洗化率	目標	%	90.0	90.0	90.0	水洗化人口÷供用開始人口	H27	91.0
	実績	%	91.2	90.6	90.9	下水道整備区域内で水洗化している人の割合	H28	92.0
	達成率	%	101.3	100.7	101.0		H34	100.0
	ベンチマーク		88.0	86.6		全国事業別類似団体平均値	—	—
参考指標 放流水質COD値	目標	mg/L	15.0	15.0	15.0	COD値（化学的酸素要求量）mg/L	H27	15.0
	実績	mg/L	8.4	8.1	8.2	値が大きいほど汚れていることを示す	H28	15.0
	達成率	mg/L	178.6	185.2	182.9		H34	15.0
	ベンチマーク		30mg/L以下	30mg/L以下	30mg/L以下	水質汚濁防止法による排水基準値	—	—
参考指標 ③	目標	%						
	実績	%						
	達成率	%						
	ベンチマーク							

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
まち営業課	企業誘致事業、企業立地促進事業	企業誘致により下水道利用の拡大が図れます。
上下水道課	水道事業、下水道事業	水道料金、下水道使用料合わせて徴収することにより事務の効率化と徴収率の向上が図れます。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由（なぜ、そのランクと評価したのか）	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか？	4	市の総人口に対する公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水、合併浄化槽など整備済人口の比率を表す指標で、市の汚水処理の整備状況が把握できます。これらの事業は、市民が快適な生活を送れる環境を築くため、市が計画的に推進する必要があり、また、海域・河川など公共水域の水質保全のための重要な施策です。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か？	4	人口減少がすすんでいる等社会情勢の変化や厳しい財政状況のなか、下水道整備計画を見直し、汚水処理について合併浄化槽設置の推進など、地域の特性にあわせて効率的な整備手法を選択して適正に事業推進を図っており事業構成は妥当なものです。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？	4	現在、汚水処理普及率は89%、水洗化率も90%を超え、高い数値です。公共下水道整備は終盤を迎え、浄化槽の設置数も徐々に増えてきています。今後も普及率が上がる見込みです。放流水質については、施設の老朽化がすすんでいますが、長寿命化事業をすすめることで、処理の安定、維持管理コストの削減をめざします。	
進行年度(H27年度)の取組内容 (課題解決状況)		公共下水道未整備区域の二ノ樋、香登西、徳当、木生、三石地区を効率的・経済的に整備し、あわせて浄化槽設置補助金の嵩上げを継続し、計画区域外の浄化槽設置の普及促進を図ります。また、供用開始から5年以上経過した家庭を訪問することにより接続を促し、広報にも接続の周知を掲載します。長寿命化事業により老朽化した日生浄化センター汚泥設備の一部を整備し、機械の延命を図ります。	
翌年度(H28年度)の取組目標		引き続き未整備区域を効率的・経済的に整備していくとともに合併浄化槽の普及促進を図り、汚水処理人口普及率の向上をめざします。また、老朽化した施設の長寿命化を計画的にすすめる必要があります。	
二次評価者コメント		整備については、経済的で効率的な方法を検討されたい。今後は維持管理が重要になることから、更新事業が計画的に行なわれるよう努力していただきたい。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職	まちづくり部長		
氏名	高橋昌弘		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位:千円,人)										施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1	公共下水道施設整備事業	管渠整備事業	補助	648,993	36,927	4.99	390,696	32,228	4.19	457,962	32,052	3.92	305,782	☆☆☆☆☆
		認可変更委託業務	法定	19,507	1,145	0.12	6,510	893	0.09					* H25終了
		水道管外移設補償事業	単市	108,930	481	0.06	90,593	400	0.05	98,569	28	0.00	34,000	☆☆☆
2	浄化槽設置補助事業	浄化槽設置補助事業	補助	35,916	1,745	0.22	29,216	1,215	0.16	28,974	2,435	0.28	41,780	☆☆☆☆☆
3	雨水施設整備事業	管渠整備事業	補助	9,379	529	0.08	14,801	1,192	0.16	3,182	2,083	0.25	20,000	☆☆☆☆
		水道管外移設補償事業	単市	0	79	0.01	0	0	0.00	0	48	0.01	0	☆
4	水洗化普及事務	啓発事務	単市	0	794	0.10	0	475	0.06	0	1,025	0.11	0	☆☆
		水洗便所改造資金融資斡旋事務	単市	12	79	0.01	5	0	0.00	1,530	0	0.00	1,829	☆☆
5	公共下水道施設管理事業	浄化センター外管理事業	単市	319,425	25,697	2.68	253,645	26,538	2.73	354,151	24,033	2.70	345,652	☆☆☆☆☆
		管渠施設管理事業	単市	44,777	2,661	0.38	50,006	3,257	0.47	42,067	841	0.08	47,506	☆☆☆☆
		長寿命化対策事業	補助	16,000	570	0.06	6,232	761	0.09	4,400	245	0.03	8,000	☆☆☆☆☆
6	農業集落排水施設管理運営事業	農業集落排水施設管理運営事業	単市	35,157	606	0.06	35,312	516	0.05	35,678	571	0.05	49,776	☆☆☆
7	漁業集落排水施設管理運営事業	漁業集落排水施設管理運営事業	単市	18,763	783	0.08	15,512	749	0.08	36,726	268	0.03	42,208	☆☆☆
8	個別排水処理施設管理運営事業	個別排水処理施設管理運営事業	単市	23,779	555	0.05	21,647	317	0.03	21,647	317	0.03	22,102	☆☆☆
9	排水設備検査事務	排水設備検査事務	単市	0	4,128	0.60	0	4,583	0.66	0	3,974	0.42	0	☆☆
10	受益者負担金賦課徴収事務	受益者負担金賦課徴収事務	内部管理	7,063	3,302	0.41	32,318	1,922	0.24	17,683	2,891	0.31	15,400	☆☆
11	下水道財政管理運営事務	上下水道審議会運営業務	単市	124	943	0.10	169	2,154	0.23	0	0	0.00	195	☆☆☆☆
		日本下水道協会負担金	単市	107	0	0.00	96	0	0.00	97	108	0.01	97	☆
		日本下水道協会中四国支部負担金	単市	20	0	0.00	20	0	0.00	18	43	0.00	19	☆
		日本下水道協会岡山県支部負担金	単市	98	0	0.00	98	0	0.00	96	119	0.01	97	☆
		和気赤磐共同コンポスト事務組合負担金	単市	0	100	0.01	0	0	0.00	0	0	0.00	0	* H23終了
		下水道事業債管理事務	内部管理	1,937,864	996	0.11	1,974,169	793	0.09	1,973,700	1,308	0.13	1,934,961	☆☆☆☆☆
12	下水道使用料賦課徴収事務	公営企業会計移行業務	内部管理	0	0	0.00	0	5,431	0.62	0	1,252	0.12	0	☆☆☆☆
		下水道使用料賦課徴収事務	内部管理	15,172	2,343	0.29	12,972	872	0.11	18,208	2,671	0.28	17,806	☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位:千円,人)				平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
				3,241,086	84,463	10.42	2,934,017	84,296	10.11	3,094,688	76,312	8.77	2,887,210	

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和51年度		根拠法令・例規等		下水道法	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問合せ先	担当課(室)	上下水道課	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち			職・氏名	工務主査 石城戸信也	
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理			電話	0869-66-9702	
事務事業名		01		公共下水道施設整備事業		このシート作成に要した時間		6.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	公共下水道全体計画における備前・三石・日生・吉永処理区域内の住民		
目的(何のために)	公共下水道施設(管渠・処理場・ポンプ場)を整備することにより各処理区域内の水洗化を促進し、公共水域の水質浄化を図り、快適な生活を送る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたのか)	全体計画区域内(1,590ha)に暮す市民の快適な生活ため、公共下水道施設の早期の整備を行う。		

事業の実績			Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	管渠整備事業	生活環境の改善のため、認可区域内の下水道管渠を計画に基づき順次整備した。	◎	
	認可変更委託業務	認可拡大に伴う申請書類等の作成を行った。	▲	
	水道管外移設補償事業	下水道管理設時に支障となる上水道管等の移設及び補償を行った。	▲	

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		777,430	487,799	556,531
	必要人員	人		5.17人	38.553	4.33人
	必要人員	人		38.553	4.33人	33.521
	必要人員	人		3.92人	32.080	3.92人
	事業費	千円		815,983	521,320	588,611
	国	千円		233,600	194,920	136,700
	県	千円				
	支	千円		39,029	173,571	87,472
	出	千円				
金	千円		489,600	322,500	315,200	
源	千円					
一般	千円		53,754	-169,671	49,239	
財	千円					
源	千円					
受	%		4.8%	33.3%	14.9%	
益	%					
者	%					
負	%					
担	%					
比	%					
率	%					

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	説明	当該年度に整備した供用開始となる面積			
	結果指標量	ha	54.4	29.9	14.5
	対前年比	%	-	53.1%	50.2%
	活動コスト	円	815,983,000	521,320,000	588,611,000
単位当たりコスト	円	14,999,688	18,038,754	40,593,862	

事業の意図する成果となる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		平成26年度事業				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
	目標値(A)	68.5	72.0	80.0	80.5	
	実績値(B)	66.2	77.6	78.5	到達目標値	
公共下水道整備率	達成率(B/A)	96.64%	107.78%	98.13%	100.0	
成果指標設定の考え方・式や説明						
当事業の評価は全体計画区域の整備状況(進捗率)としており、整備済み面積を成果指標とする。 公共下水道整備率(%) = 公共下水道整備済み面積(ha) / 全体計画面積(ha) × 100 = 1,248.2 ÷ 1,589.6 = 78.5 % ※H25年度認可変更により 面積1,821.0 → 1,589.6haに変更						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い しい
	必要性	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い しい
市民ニーズ	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い しい

事業の目的やその数値目標にある成果指標に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	整備の効率化及びコスト削減を図りながら、現況認可区域の早期の整備を進めていく。					

総合評価		総合評価	
下水道整備は公共用水域の水質保全及び生活環境の改善に多大な効果がある反面、施設整備には多大な費用を要することとなる。しかし、下水道は公共的な側面が大きいことから、計画された区域をバランスよく限られた財源の中で効率的に且つ効果的に整備することが求められる。整備にあたりコスト削減を図るとともに、効果がより得られるよう整備計画を立案する必要がある。		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い しい	B

平成27年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	合併浄化槽の促進と併せて、効率的で経済的な整備を目指し、早期完了に努めていく。					

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	平成元年度		根拠法令・例規等	浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち	合 職・氏名	係長 山本 あゆみ
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理	先 電 話	66-9701
事務事業名		02	浄化槽設置補助事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	公共下水道の事業計画の認可を受けた区域及び農業集落排水施設設置事業ならびに漁業集落排水施設設置事業の採択された区域以外の地域で、専用住宅に処理対象人員50人以下の浄化槽を設置する人	
目 的 (何のために)	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	公共下水道の事業計画の認可を受けた区域及び農業集落排水施設設置事業ならびに漁業集落排水施設設置事業の採択された区域以外の地域で、専用住宅からの生活排水を浄化槽により処理する	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細 事 業 名	事業の説明	優先度
	浄化槽設置補助事業	汚水処理は、下水道整備等との関連で地域の実情に応じての比較検討により効率的な方法を選択して整備を進めることが必要となるため、主に周辺地域が浄化槽補助対象区域となり浄化槽設置補助事業が実施されてきました。 平成21年度からは浄化槽設置を促進するため補助金額の増額(1基あたり10万円・市負担)を行い、平成23年度からさらに1基あたり10~40万の増額を行いました	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	35,916	29,216	28,974
	必要人員人件費	千円	0.22人 1,745	0.16人 1,215	0.28人 2,435
	事業費計	千円	37,661	30,431	31,409
決算額	国 県 支 出 金	千円	11,916	14,464	12,808
	受 益 者 負 担				
	繰 入 金				
	市 債				
	その他()				
	一 般 財 源		25,745	15,967	18,601
	受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
補助基数	説明	補助制度を利用して設置した浄化槽設置基数	43	43	43
結果指標量	基	52	43	43	43
対前年比	%	82.7%	82.7%	100.0%	100.0%
活動コスト	円	37,661,000	30,431,000	31,409,000	31,409,000
単位当たりコスト	円	724,250	707,698	730,442	730,442

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
浄化槽人口普及率	目標値 (A)		10.2%	11.00%	14.00%	16.00%
	実績値 (B)		10.4%	10.20%	15.40%	到達目標値
	達成率 (B/A)		101.96%	92.73%	110.00%	14.00%
成果指標設定の考え方・式や説明						
浄化槽利用人口/行政区内人口						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな

進行年度 (H27年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
		説明	平成21年度から補助金額の上乗せ(1基あたり10万円)、さらに平成23年度から1基あたり10~40万円の増額を行っており、厳しい財政状況の折ではあるが、現行制度を維持し、制度の周知を図っていく。						

総合評価		浄化槽設置には多額の費用が必要となるため、個人の住宅への設置を促進するためには補助制度は必要です。公共下水道整備区域の見直しが行われたことから浄化槽設置の促進は今後も重要となります	総合評価
			A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
				○					
		取組目標	今後も融資あっせん制度とあわせて啓発活動をおこない設置促進を図っていきたい。						

備前市事務事業評価シート

事業の概要							
事業開始年度	昭和62年度		根拠法令・例規等	下水道法			
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問	担当課(室)	上下水道課	
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち		合	職・氏名	工務主査 石城戸信也
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理		先	電 話	0869-66-9702
事務事業名		03	雨水施設整備事業	このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的		
対象 (誰・何に対して)	吉永排水区内の現認可区域内 (92.5ha) 全ての住民・家屋等。	
目的 (何のために)	梅雨・台風等の集中豪雨による浸水被害を解消する。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	年次的な計画により主要な管路を整備し、梅雨・台風等の集中豪雨による浸水被害を解消する。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	管渠整備事業	浸水対策のため、認可区域内の雨水管渠を計画に基づき整備した。	◎
	水道管外移設補償事業	管渠整備事業実施に伴い、補償物件が存在しないか調査した。	▲

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	9,379	14,801	31,182			
	必要人員	人件費	千円	0.09人	608	0.16人	1,192	0.26人	2,131
	事業費	千円	9,987	15,993	33,313				
	財源	国県支出金	千円			9,165			
	受 益 者 負 担	繰 入 金	千円			25,200			
	一 般 財 源	その他 ()	千円						
受 益 者 負 担 比 率	%		9.987	15.993	-1,052				
結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績					

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	m	74	69	131
	対前年比	%	-	92.6%	190.0%
	活動コスト	円	9,987,000	3,808,000	3,808,000
単位当たりコスト	円	134,415	55,349	29,135	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
公共下水道整備率	目標値 (A)	92.00	92.50	93.00	94.50
	実績値 (B)	91.90	92.60	93.90	到達目標値
	達成率 (B/A)	99.89%	100.11%	100.97%	100.00
成果指標設定の考え方・式や説明					
当事業の評価は全体計画区域の整備状況(進捗率)としており、主要管渠の整備率を成果指標とする。					
主要管渠整備率(%) = 主要管渠整備累計(m) ÷ 計画主要管渠総延長(10,320.0m) × 100 $9,687.69 \div 10,320.00 = 93.9\%$					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度			B

進行年度 (H26年度) の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	整備の効率化及びコスト削減を図りながら、現認可区域内の主要管渠の早期完了を目指す。						

総合評価		
雨水渠の整備は災害を未然の防止するにあたり非常に有効である。また、近年ではゲリラ豪雨による局地的な災害も発生していることから、浸水等の災害が発生する可能性の高い箇所や幹線管渠等の事業効果の高いものを順次整備する必要がある。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	今後も引き続き、効率的で経済的な整備を目指し、早期完了に努めていく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		昭和62年度		根拠法令・例規等	
事業開始年度		昭和62年度			
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち	問	担当課(室) 上下水道課
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理	合	職・氏名 係長 山本 あゆみ
事務事業名		04	水洗化普及事務	先	電 話 66-9701
				このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	下水道処理区域内の排水設備設置義務者	
目的 (何のために)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道処理区域内の家屋、事務所等の下水道への接続の促進を図る	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	水洗化率の向上	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	目的を達成するために実施した事業
啓発事業	広報紙への記事掲載および未接続者への啓発訪問	◎	
水洗便所改造資金融資あっせん事務	水洗化工事費に対する銀行融資のあっせん和利子の一部補給	○	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
事業費	直接事業費	千円	12	5	5
	必要人員人件費	千円	0.11人 873	0.06人 475	0.11人 1,025
	事業費	千円	885	480	1,030
決算額	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他()				
一般財源		885	480	1,030	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	融資あっせん利子補給件数	説明	融資あっせん利子補給を行っている件数		
	結果指標量	件	3	3	3
	対前年比	%		100.0%	100.0%
	活動コスト	円	885,000	480,000	1,030,000
単位当たりコスト	円	295,000	160,000	343,333	

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
水洗化率	目標値(A)		90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	実績値(B)		91.2%	90.6%	90.9%	到達目標値
	達成率(B/A)		101.33%	100.67%	101.00%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明						
水洗化人口/下水道処理区域内人口						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業については積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		B

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		状況		○					
説明		引き続き臨戸訪問により水洗化の普及を図る							

総合評価		総合評価		C
下水道整備の目的である生活環境の改善、公共用水域の保全を図るには、水洗化の啓発活動は重要である。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い		C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		方向性		○					
取組目標		引き続き普及促進を図っていく							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		昭和62年～		根拠法令・例規等		下水道法、水質汚濁防止法	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問	担当課(室)	上下水道課	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち			職・氏名	課長代理・池本吉弘	
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理			合先	電話	0869-66-9702
事務事業名		05		公共下水道施設管理事業		このシート作成に要した時間		5.5 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	下水道使用者及び片上・吉永地区の雨水対象者		
目的(何のために)	公共用水域の水質保全のために、流入下水を浄化し放流する。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	処理場施設の適正な維持管理に努め、下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	浄化センター外管理事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎
		汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理	○
		雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理(片上・吉永)	○
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○
事業場から排水される汚水の水質調査及び指導	▲		
管渠施設管理事業	下水道管渠等の健全な管理のため、管渠やマンホールポンプの点検・清掃を行い、安全な通行を確保するため、マンホール周辺の路面修繕を行った。	○	
長寿命化対策事業	日生浄化センターの長寿命化対策事業として、土木・建築・機械・電気設備の耐震診断等の結果に基づき、実施設計業務を行った。	○	

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		380,202	309,883	400,618
	必要人員	人		3.12人	2.29人	2.80人
	必要人員	人		28,928	30,556	25,119
	事業費	千円		409,130	340,439	425,737
	国	千円		9,750	3,116	2,200
県						
支						
出						
金						
受						
益						
者						
負						
担						
比						
率						
一						
般						
財						
源						
受						
益						
者						
負						
担						
比						
率						

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	説明	汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量		
	対前年比	%	3,699,578	3,743,716	3,644,548
	活動コスト	円	409,129,696	340,439,413	425,736,505
単当たりコスト	円	111	91	117	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果						
放流水のCOD値	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成26年度目標値
	目標値(A)		15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値(B)		8.4	8.1	8.2	到達目標値
	達成率(B/A)		56.0%	54.0%	54.7%	15mg/l以下
成果指標設定の考え方・式や説明						
COD(化学的酸素要求量)は、海域と湖沼の排水基準に用いられ、水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量を示す。実績値の値が大きいくらいほど汚れが大きく、目標値以下でなければならない。(目標値>達成値、達成値=目標値÷実績値は100%以上でなければならない。)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度				C

事業の目的やその留意点に留意しながら

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	経年により老朽化が進んでいる施設(日生浄化センター)は、長寿命化対策事業の実施設計に基づき、部分的に改築工事を実施していく。維持管理業務は、効率的、経済的な施設の点検整備を進める。						

総合評価		総合評価
処理コスト(電気料金、薬剤費用、汚泥処理費)を抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	計画的な点検整備による、効率的・経済的な施設管理を実施していく。また、長寿命化計画を基き、施設(日生浄化センター)の部分的な改築を推進していく。						

Action

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成5年度		根拠法令・例規等	水質汚濁防止法・浄化槽法
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち		
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理		
事務事業名		06	農業集落排水施設管理運営事業	合 職・氏名	参事 初治 慎一
				電 話	0869-66-9702
				このシート作成に要した時間	4.5 時間

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	備前市新庄地区及び吉永町大股地区で生活する市民及び不特定多数		
目的 (何のために)	農業集落の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全の資する。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つ。		

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	農業集落排水施設管理運営事業	農業集落地区の汚水処理を目的に設置した2箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○
		汚水送水を目的に埋設している管渠の維持管理	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		35,157	35,312	35,678
	必要人員	人	件	0.06人	0.05人	0.05人
	事業費	千円		35,763	35,828	36,249
	国 県 支出 金	千円				
	受 益 者 負 担					
繰 入 金						
市 債						
その他()						
一 般 財 源			35,763	35,828	36,249	
受 益 者 負 担 比 率	%		-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
	結果指標量	説明	汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量	49,572	49,561	49,579
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	35,762,275	35,828,485	36,249,000	
単当たりコスト	円	721	723	731		

事業の成果						
放流水のBOD値	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値(A)		20.0	20.0	20.0	20.0
	実績値(B)		8.7	14.1	11.05	到達目標値
		達成率(B/A)	43.5%	70.5%	55.3%	20mg/ℓ以下
成果指標設定の考え方・式や説明						
BODは、浄化槽が適正な維持管理により所期の処理機能が確保されているか否かを判定する指標である。生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量。大きいほど汚れが甚だしいことを示す。目標値(A)÷実績値(B)は100%以上とならなければならない。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低 C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	維持管理費用(電気料金、薬剤費用、汚泥処理費)を抑えるよう努力し、処理機能を十分発揮できるよう、維持管理を行う。						

総合評価		Action	
処理水質は、概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう、維持管理を行う。	総合評価	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い 低	C

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	適正な維持管理に努め、計画的な保守点検や機械整備についての計画を策定し、効率的に実施していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和57年		根拠法令・例規等		水質汚濁防止法・浄化槽法	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」		問合せ先	担当課(室)	上下水道課	
	中項目	基本計画	08	快適な生活が送れるまち			職・氏名	主査 清水 弘樹	
	小項目	施策	33	生活排水の適正処理			電話	0869-66-9702	
事務事業名		07		漁業集落排水施設管理運営事業		このシート作成に要した時間		4.5 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	日生町頭島、大多府地区で生活する市民及び不特定多数		
目的(何のために)	漁業集落の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全の資する。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保ち、漁場の汚染防止に寄与する。		

事業の実績		Do		
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	漁業集落排水施設管理運営事業	頭島浄化センター維持管理業務	○	
		汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理		
	大多府浄化センター維持管理業務	大多府浄化センター維持管理業務	○	
		汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理		

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	直接事業費	千円	18,763	15,512	36,726	
	必要人員費	千円	0.08人・783	0.08人・749	0.03人・268	
	事業費計	千円	19,546	16,261	36,994	
	国県支出金	千円				
受益者負担	千円					
繰入金	千円					
市債	千円					
その他()	千円					
一般財源	千円	19,546	16,261	36,994		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績		
結果指標量	説明	汚水を浄化し公共水域へ放流した水量				
対前年比	%	103.567	102.263	104.777		
活動コスト	円	86.0%	98.7%	102.5%		
単位当たりコスト	円	19,546,977	16,261,843	16,637,010		
		189	159	159		

事業の成果		平成26年度事業				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
	目標値(A)	10.0	10.0	10.0	10.0	
	実績値(B)	2.4	2.7	2.7	到達目標値	
達成率(A/B)		416.7%	370.4%	370.4%	10mg/l以下	
成果指標設定の考え方・式や説明						
BODは、浄化槽が適正な維持管理により所期の処理機能が確保されているか否かを判定する指標である。生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量。大きいほど汚れが基だしいことを示す。目標値(A)÷実績値(B)は100%以上とならなければならない。						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	妥当性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 B
効率性の評価	コスト	手段	効率性評価
	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 C
有効性の評価	目的達成度	市民参画度	有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低 C

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	老朽化した施設の改修等を図り効率的な維持管理を行う。					

総合評価		総合評価	
施設の老朽化は進行しているが、処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を、十分発揮できるよう計画的に効率的な改善等を行う必要がある。		A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 高 低	C

平成27年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充	現状継続	見直し
		○	
取組目標	老朽化した施設の改修等の効率的な方法及び処理方式の変更を含めた施設更新の方法について、引き続き継続して検討する。		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成12年～	根拠法令・例規等	浄化槽法		
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	上下水道課		
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち			職・氏名	参事 初治 慎一
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理			電 話	0869-66-9702
事務事業名		08	個別排水処理施設管理運営事業	このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の目的		Plan			
対象 (誰・何に対して)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域外で生活する市民及び不特定多数				
目的 (何のために)	文化的で快適な生活環境の提供を図り、併せて公共水域の水質保全に資する。				
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つとともに、未接続や未供用の解消を推進する。				

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するため実施した事業	細事業名	個別排水処理施設管理運営事業	個別浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つための清掃と管理委託	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	23,779	21,647	19,633
	必要人員	人	0.05	0.03	0.05
	事業費	千円	24,334	21,964	20,168
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
一般財源	市	千円			
	その他()	千円			
受益者負担比率		%	24.334	21.964	20.168

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	人	220	209	206
	対前年比	%	-	95.0%	98.6%
	活動コスト	円	24,334,167	21,964,556	20,168,027
	単位当たりコスト	円	110,610	105,094	97,903

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
成果指標名	水洗化率 (%)	目標値 (A)	100	100	100	100
		実績値 (B)	95.7	95.9	96.7	到達目標値
		達成率 (B/A)	95.70%	95.90%	96.70%	平成30年度
成果指標設定の考え方・式や説明						
浄化槽接続人口/対象区域内人口						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >				Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	C	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い	
	手段	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	C	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い	
	市民参画度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	C	

進行年度 (H27年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。							

総合評価		総合評価
浄化槽の処理機能は適正に保たれており、維持管理費用を抑えるよう努力している。		総合評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
		C

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Action

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要					
事業開始年度	昭和57年度～		根拠法令・例規等	下水道法 備前市公共下水道条例	
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち	合 職・氏名	係長 山本 あゆみ
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理	先 電 話	66-9701
事務事業名		09	排水設備検査事務	このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		
対 象 (誰・何に対して)	公共下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設並びに個別排水処理施設に接続して汚水を処理しようとする人。	
目 的 (何のために)	適正な施工方法・維持管理方法の周知により、安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを防ぎ、施設の維持管理費の増加を防ぐ。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	適正な施工方法・維持管理方法の周知により、安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを防ぎ、施設の維持管理費の増加を防ぐ。	

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	排水設備検査事務	下水道供用開始区域内の市民が、排水設備設置時に指定工事店をとおして行う申請書類の審査から工事完了の確認検査までの事務を行った。	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.60人	0.66人	0.42人
	必要人員	人	4,128	4,583	3,974
	事業費	千円	4,128	4,583	3,974
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
負	担	千円			
	比	%	4,128	4,583	3,974
率		%	-	-	-

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	排水設備検査件数	件	190	183	223
	対前年比	%	-	96.3%	121.9%
	活動コスト	円	4,128,000	4,583,000	3,974,000
	単当たりコスト	円	21,726	25,044	17,821

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成26年度事業)

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
完工検査適合率	目標値 (A)		100	100	100	100
	実績値 (B)		90.7	94.0	94.0	到達目標値
	達成率 (B/A)		90.70%	94.00%	94.00%	100
成果指標設定の考え方や説明						
処理場や下水道本管の保全には、個人施設である排水設備が正しく施工されていることが必要であるため、検査の適合率を成果指標とする。 設置基準適合件数(検査数-不適合数)÷排水設備検査数×100(%)=(167-10)÷167×100=94.0						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標からある成果指標に留意しな

進行年度 (H27年度) の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
説明		前年度と同様、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を指定業者に徹底し、市民へも説明している							

総合評価		
今後も継続して、岡山県下水道協会と連携し、責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図っていく。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い
		B

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
取組目標		完工検査適合率の更なる改善を目指すため、対象になる案件については事前協議を徹底する。また、引き続き責任技術者には適正な排水設備の施工方法を指導し、市民には適正な維持管理についてお願いしていく。							

Action

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 昭和62年度
大項目基本構想: 05 生活環境政策「快適・活力」
中項目基本計画: 08 快適な生活が送れるまち
小項目施策: 33 生活排水の適正処理
事務事業名: 10 受益者負担金賦課徴収事務

事業の目的
対象(誰・何に対して): 下水道が整備されたことにより、生活環境の改善や土地の利用価値の向上等の利益を受ける方
目的(何のために): 受益と負担の公平を図るため、下水道の整備により直接利益を受ける方に建設費の一部を負担していただき、下水道財源の一部とする
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか): 公共下水道の整備のための財源の確保

事業の実績
細事業名: 受益者負担金賦課徴収事務
事業の説明: 下水道の整備により利益を受ける方に、負担金を賦課し徴収事務をおこなう
優先度: ◎

決算額
事業費等: 平成24年度実績 7,063 / 平成25年度実績 32,318 / 平成26年度実績 17,683
必要人員: 0.41人 / 0.24人 / 0.31人
事業費: 10,365 / 34,240 / 20,574

結果指標
結果指標名: 現年分収納率
結果指標量: 89.8% / 97.5% / 97.6%
対前年比: 108.6% / 100.1%
活動コスト: 9,603,787 / 6,828,315 / 20,574,000
単位当たりコスト: 106,946 / 70,034 / 210,799

事業の意図と成果指標
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
作成時間に、この2時間をプラスして下さい(人件費等作成時間です)

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果
成果指標名: 収納率の向上
年度: 平成24年度 97.0% / 平成25年度 97.0% / 平成26年度 97.6% / 平成27年度目標値 97.0%
実績値(B): 97.4% / 99.2% / 97.0% (到達目標値)
達成率(B/A): 100.41% / 102.27% / 99.39% / 100.0%

事務事業の評価
市との関与の妥当性: 必要 (C)
市民ニーズ: あり
効率性の評価: コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい (C)
有効性の評価: 成果指標の設定は適切である (C)

事業の目的やその数値目標から有効性を評価しな

進行年度(H27年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: 制度の周知と滞納対策に取り組み収納率の向上を図る

総合評価
総合評価: C
制度の周知と滞納対策に取り組み収納率の向上を図ることが必要

平成28年度の方向性・取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 制度周知と滞納対策に取り組む

備前市事務事業評価シート

事業の概要					
事業開始年度	昭和51年度		根拠法令・例規等	備前市下水道条例 ほか	
総合計画	大項目 基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	問 担当課(室)	上下水道課
	中項目 基本計画	08	快適な生活が送れるまち	合 職・氏名	係長 山本 あゆみ
	小項目 施策	33	生活排水の適正処理	電 話	66-9701
事務事業名	11	下水道財政管理運営事務		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	下水道事業特別会計等の運営	
目的 (何のために)	下水道施設等の適正な管理運営と計画的な施設整備促進のための財政管理をおこなう	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	適正な財政管理をおこなう	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	日本下水道協会負担金	負担金	△
	日本下水道協会中四国支部負担金	負担金	△
	日本下水道協会岡山県支部負担金	負担金	○
	和気赤磐共同コンポスト事務組合負担金	負担金	△
	下水道事業債管理事務	地方債の管理	◎
	公営企業会計移行事務		

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	1,938,213	1,974,552	1,973,911
	必要人員	人	0.22人	0.94人	0.27人
	事業費	千円	1,940,251	1,982,930	1,976,741
財源	国庫支出金				
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他()				
	一般財源		1,940,251	1,982,930	1,976,741
	受益者負担比率	%	-	-	-
結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	
予算編成	説明	予算編成			
結果指標	結果指標量	会計数	5	5	5
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	607,000	611,000	
	単位当たりコスト		121,400	122,200	0

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
経費回収率向上による下水道事業の健全な財政運営	目標値 (A)	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	
	実績値 (B)	93.6%	74.80%	56.90%	到達目標値	
	達成率 (B/A)	110.12%	88.00%	66.94%	90%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
使用料収入/汚水処理経費(資本費を含む)*100						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	市民参画度 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度 (H27年度) の改革改善内容	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	・平成21年度までに実施した借換債により、以降は経費回収率の向上が見込まれる。 ・公営企業会計への移行後のスムーズな運営と職員の理解を深め、経営意識向上に努める。

総合評価		総合評価
下水道事業経営の独立採算制の原則に基づき、継続して増収、経費削減への取り組みや長期的な視野に立った整備計画の見直し、適正な地方債管理等により下水道財政の健全化に努めていく必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成28年度の方向性・取組目標		Action				
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>					
取組目標	引き続き下水道財政の健全化に努める					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要
事業開始年度: 昭和62年度
大項目基本構想: 05 生活環境政策「快適・活力」
中項目基本計画: 08 快適な生活が送れるまち
小項目施策: 33 生活排水の適正処理
事務事業名: 12 下水道使用料賦課徴収事務

事業の目的
対象: 下水道利用者
目的: 下水道利用者から下水道使用料を徴収し、汚水処理費、維持管理費等の財源確保を図る
事業の意図する成果: 水道事業者と連携してコスト削減と成果の向上を図る

事業の実績
事業名: 下水道使用料賦課徴収事務
事業の説明: 下水道利用者から使用料金の賦課徴収を行う
優先度: ◎

事業費等
事業費: 18,208千円
必要人員: 0.28人
事業費: 20,879千円
結果指標: 結果指標量 60,738件 (対前年比 106.6%)

事業の成果
成果指標名: 収納率
年度: 平成24年度 (98.0%), 平成25年度 (98.0%), 平成26年度 (98.0%), 平成27年度目標値 (98.0%)
到達目標値: 100.0%

事務事業の評価
市の関与の妥当性: 必要
市民ニーズ: 高い
効率性の評価: コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
有効性の評価: 目的達成度: 高い

進行年度(H27年度)の改革改善内容
状況: 現状継続
説明: 平成20年度において市内全域の料金算定方法の統一と、徴収方法の変更(2か月ごとの検針および徴収)を行いコストの縮減が図られました。

総合評価
総合評価: C
下水道使用料の徴収は、下水道事業の運営に欠かせない業務であり、徴収事務を水道事業者に委託することは効率的で有効性にも優れている。

平成28年度の方向性・取組目標
方向性: 現状継続
取組目標: 水道事業者と連携してコスト縮減と成果向上を図る。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら